

## 講師紹介



**川嶋 直**(かわしま・ただし)

環境教育事業部 シニアアドバイザー

東京都出身。1984年にキープ協会がネイチャーセンターを開設した当初から環境教育事業を担当。27年に渡る環境教育の指導者養成事業の経験の中から、「指導者に必要なコミュニケーション力と企画力」を痛感。自然の中での「自然とのコミュニケーション・人とのコミュニケーション・自分自身とのコミュニケーション」を通じた環境教育を実践中。企業や大学・行政などあらゆるセクターとのコラボレーションも進めている。

### <その他の役割>

立教大学ESD研究センターCSRチーム主幹(2007年～)／公益社団法人日本環境教育フォーラム理事(1997年～)／NPO法人自然体験推進協議会理事(2000年～)／日本環境教育学会理事(2011年～)／愛・地球博「森の自然学校・里の自然学校」統括プロデューサー(2003～2005年)

### <著書など>

著書:『就職先は森の中～インタープリターという仕事』(小学館)  
共著:『日本型環境教育の提案』(小学館)／『環境教育の試み～エコロジーキャンプ』(財団法人キープ協会)／『野外教育入門』(小学館)／『次世代CSRとESD』(ぎょうせい)  
監訳:『インタープリテーション入門』(小学館) ほか



**増田 直広**(ますだ・なおひろ)

環境教育事業部事業部長  
都留文科大学非常勤講師

群馬県出身。埼玉大学・大学院で生涯学習としての環境教育を専攻。教育学修士。現在は、環境教育事業部のマネジメント、企業との協働事業、指導者育成、山梨県北杜市の地域づくりにおける人材育成やプログラム開発などを担当。「環境教育&観光&健康の地域づくり」「環境教育の研究と実践の橋渡し」などを近年のテーマとしている。

2008年より、都留文科大学非常勤講師。

### <その他の役割>

都留文科大学非常勤講師  
日本環境教育学会理事 など

### <著書など>

共著:『ファシリテータートレーニング』(ナカニシヤ出版)



**若林 正浩**(わかばやし・まさひろ)

日光国立公園  
那須平成の森フィールドセンター長

三重県出身。環境教育事業課長、山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター館長など歴任。感性とサイエンスの両面を切り口にインタープリテーションの手法を通して環境教育活動に取り組んできた。現在は、これまでの環境教育事業に加え、職員の資質向上のための指導教育全般の業務を担当。キーワードは「人と人が生み出すNPOマネジメント」。

2011年より、日光国立公園那須平成の森フィールドセンター長。

### <資格など>

環境省自然公園指導員、環境省鳥類標識調査員、CONEトレーナー(自然体験活動推進協議会)、プロジェクトワイルドファシリテーター(公園緑地管理財団)、自然観察指導員(日本自然保護協会)、自然学校指導者マネジャー(日本環境教育フォーラム) ほか



**湊 秋作**(みなと・しゅうさく)

キープやまねミュージアム 館長  
関西学院大学教育学部教授

和歌山県出身。理学博士。小学校教員を24年務めた後、キープやまねミュージアム館長に着任。教員時代はビオトープ作り(田んぼ水族館)などをはじめとした環境教育や情報教育に情熱を注ぐ。ライフワークはヤマネの総合的な研究と国内外のヤマネ研究のネットワーク作り、ヤマネの保護及び、森林保全の具体策研究の他、原体験教育、田んぼの学校、湿地の保護運動など。2010年より、関西学院大学教育学部教授。

### <著書など>

『ヤマネはねぼすけ?』(福音館書店)／『ヤマネって知ってる?』(築地書館)／『森のスケーターヤマネ』(文研出版)／『田んぼの学校・あそび編』(農文協)／『田んぼの学校 まなび編』(農文協)／『田んぼの楽校』(山と溪谷社)／『田んぼ図鑑』(農文協) ほか

## 財団法人キープ協会 環境教育事業部(キープ・フォレスターズ・スクール)

〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里3545

電話:0551-48-3795 (09:00~17:00) ファックス:0551-48-3228

メール:[forester@keep.or.jp](mailto:forester@keep.or.jp) ホームページ:[http://www.keep.or.jp/ja/foresters\\_school](http://www.keep.or.jp/ja/foresters_school)



財団法人キープ協会 環境教育事業部  
キープ・フォレスターズ・スクール



# 環境教育指導者養成事業のご案内

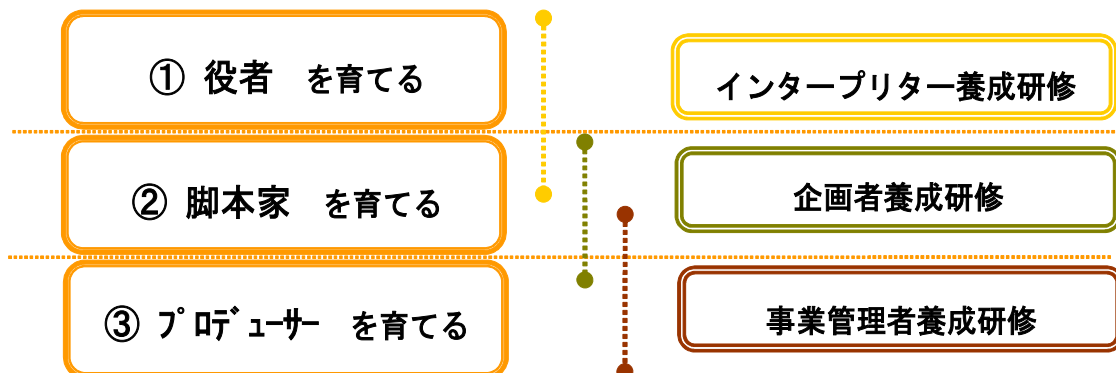


## 環境問題解決のために

地球環境問題が深刻化するなか、環境教育への期待はますます高まっています。私たちキープ協会は、1)環境教育プログラムの開発、2)環境教育ネットワークの支援、そして、3)環境教育指導者の養成、を大きな柱として、20数年にわたって環境教育事業に取り組んできました。地球環境問題解決のために必要なのは、今自分ができることを自ら考え、そして行動すること。その小さな一歩を踏み出すことが、「持続可能な社会」の実現に近づくと考えています。環境教育に求められる役割も、「自ら考え、行動する人」を育てることだといえます。私たち自身がその一人になれるよう、自然の中で「共に学びあう」場を作ることを目指しています。

## 環境教育の指導者とは

環境教育の指導者といっても、その役割は多様です。私たちはこれを演劇にたとえるならば、大きく3つに分けることができると考えます。①参加者の前に立って、直接指導する「役者」、②役者が何をするのかを組み立てる「脚本家」、そして、③その場を成立させるために必要な場所・時間・人・予算などを用意する「プロデューサー」です。キープ協会では、それぞれの役割に応じて、必要な考え方や手法を学ぶ研修を企画運営しています。



## 豊かな学びの場を目指して

キープ協会で行う環境教育指導者養成研修は、講義形式中心の堅苦しい内容ではありません。豊かな自然環境を利用した、野外での体験や実習を中心に、全員参加型のワークショップ形式で進めています。「体験から学ぶ」「お互いから学ぶ」「楽しみながら学ぶ」ことを大切にしながら、参加される皆さんと「共に学びあう」場を作っています。

## “役者”を育てる～インタープリター養成研修



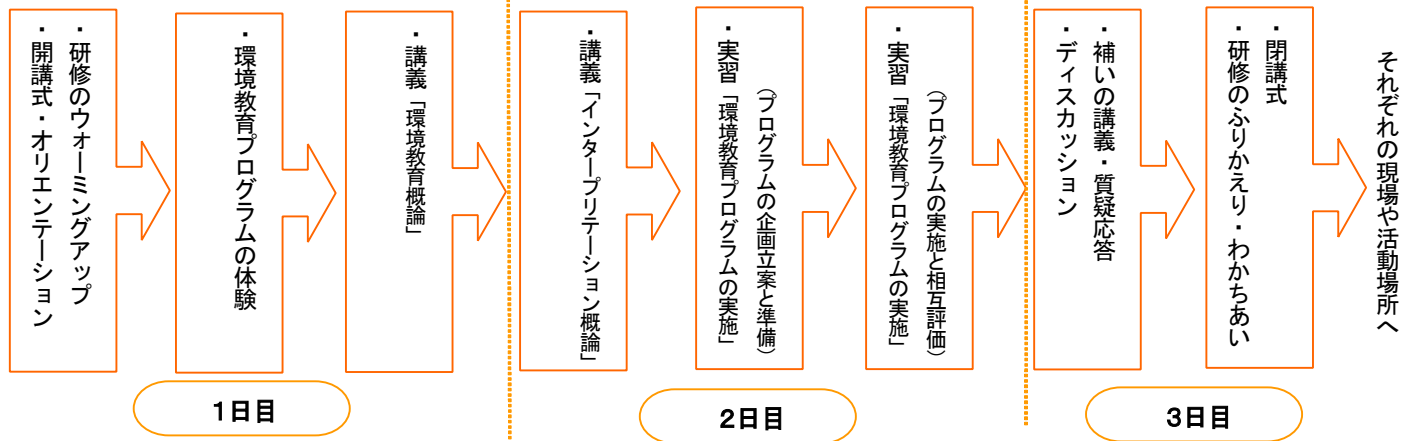
- 1) 環境教育の基本的な考え方を学ぶことができます
- 2) インタープリテーションの考え方やその手法について知ることができます
- 3) 自然体験型環境教育プログラムの作り方を学ぶことができます

### ●「自然」と「人」とをつなぐインタープリター

インタープリテーション interpretation とは本来、「通訳・翻訳」といった意味ですが、ここでは自然解説の考え方・手法を指します。その役割を担う人をインタープリター interpreter と呼びます。インタープリターは、目には見えない自然のメッセージを分かりやすく伝える「自然と人との橋渡し役」であるといえます。



<スケジュールの例>



2泊3日を基本としていますが、ご要望に応じて、期間を変更することも可能です。

## “脚本家”を育てる～企画者養成研修



- 1) 自然解説・野外教育・森林環境教育に関する事業企画の手法の学びます
- 2) 企画作りに必要な視点を広げます
- 3) 自分の課題を知り、現場の企画作りに活用できます。

### ●思いを形にするために

環境教育は指導者が一方的に教えるだけではなく、学び手の興味関心を引き出し、主体的に関わる場作りが求められます。効果的な学びの場を生み出すために、時代や社会、対象者のニーズを知るマーケティング分析をはじめ、企画立案から実施までのプロセスを整理します。



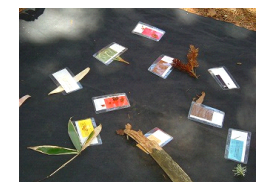
## “プロデューサー”を育てる～事業管理者養成研修



- 1) 事業マネジメントにおいて必要な視点を整理することができます
- 2) 合意形成トレーニングなどを通じて、コミュニケーションの重要性を理解します
- 3) 現場の課題解決に向けての具体的なアクションをプランニングします

### ●環境教育事業における“マネジメント”の意味

環境教育事業におけるマネジメントは、「人」「時間」「資金」「コンセプト」「安全」を管理運営することといえます。環境教育指導者にとって、しっかりとしたマネジメント能力をつけることで、事業が良質なものになり、組織の成長にもつながります。



## ●キープ協会には、施設・食・そして豊かな自然があります

開拓の歴史を刻む清里のシンボル「清泉寮本館」(120名収容)、温泉を併設した2009年オープン「清泉寮新館」(80名収容)をはじめ、「清泉寮コテージ」(15棟90名収容)、「キープ自然学校」(150名収容)、「キャンプ場」(100名収容)と、充実した宿泊施設があります。目的や人数に応じて、複数の宿泊施設を組み合わせご利用いただくことも可能です。また、キープ農場のジャージー牛乳はじめ、地域の食材をふんだんに取り入れたお食事もお提供しています。そして施設を一步出れば、目の前に広がる森と草原。「施設」「食」「フィールド」と、研修に必要な要素が複合的に揃っているのが、キープ協会の大きな特徴です。

## ●全国どこにでも伺います

ご依頼いただければ、全国どこにでも出張いたします。地域の特性や条件を取り入れた研修の方が、より効果が期待できます。

## ●講演会も承ります

環境教育やインタープリテーションに関連する講演会のご依頼もお受けできます。お気軽にご相談ください。

## ●お見積りのご案内(2011年度)

キープ協会の環境教育指導者養成事業は、ご要望に応じてオーダーメイドで企画運営いたします。まずは、研修の目的、日数、人数、実施場所などをお知らせください。お見積書を作成いたします。下記のお見積り例での日数や人数は、研修の効果を考えてのもので、詳しくはご相談ください。

### ●キープ協会で開催の場合

(日数:2泊3日 人数:30名 会場:清泉寮 講師・スタッフ:3名 の場合)

・研修の企画運営費

**700,000円** (概算)

・宿泊食費

**一名様 7,500円** ~ (概算/1泊3食付/部屋タイプによって異なります)

※これにホール利用料、教材費等を別途ご請求させていただく場合がございます。

※出張で開催の場合、上記企画運営・人件費と合わせて、講師・スタッフの交通費・宿泊食費等実費を別途ご請求いたします。

### ●講演会

**一式 100,000円** (概算)

※料金は担当講師や内容・時間等によって異なります。また交通費等実費は別途ご請求いたします。

## ●おもな実績(2010年度/敬称略・順不同)

●JICA 日系研修「環境教育指導者及び施設運営者養成」(独立行政法人国際協力機構) ●富士吉田市外ニヶ村恩賜県有財産保護組合派遣研修(富士吉田市外ニヶ村恩賜県有財産保護組合) ●平成22年度 JICA 集団研修「熱帯・亜熱帯地域におけるエコツーリズム企画・運営」(NPO 法人おきなわ環境クラブ) ●平成22年度山梨県緊急雇用創出事業(みずがき山ふるさと振興財団) ●JICA 技術補完研修「環境教育セミナー」(社団法人青年海外協力協会) ●能登町雇用創出連絡協議会森林療法研修(能登町雇用創出連絡協議会) ●平成22年度森林ふれあい研修「野外活動プログラムの作り方」(林野庁) ●JICA「マングローブ生態系の持続可能な管理と保全」研修(国際マングローブ生態系協会) ●JICA「持続可能な開発のための環境教育～沿岸生態系と住民生活の保全コース」研修(国際マングローブ生態系協会) ●森林を活用した環境教育研究会(山梨県緑化推進機構、山梨県森林総合研究所) ●福井県ふくい農林水産支援センター研修「森林環境教育の指導のポイント」(ふくい農林水産支援センター) ●NEC 森の人づくり講座(公益社団法人日本環境教育フォーラム) ●NTTコムウェア「環境サポーターズ研修」(Value Frontier 株式会社) ●NTT 西日本「自然体験型環境教育研修」(NTTジーピー・エコ) ●神社本庁「青少年対策研修会」(神社本庁) ●林野庁森林総合利用研修「森林環境教育の事業企画」(林野庁森林技術総合研修所) ●環境教育リーダー研修基礎講座・関東ブロック(環境省・文部科学省) ●明星大学ファシリテーション研修(明星大学) ●中国・循環型経済推進プロジェクト「中国環境教育施設運営及び人材育成(独立行政法人国際協力機構) ●栃木県自然ふれあい活動指導者養成講座(栃木県自然ふれあい活動推進協議会) ●中部電力環境案内人制度環境教育指導者育成プログラム「平成22年度森林環境教育指導者育成コース」(中部電力株・日本エヌ・ユー・エス) ●森林 NPO 活動指導者育成事業「森林環境教育コーディネーター研修」(国土緑化推進機構) ●東京ガス環境エネルギー館フォローアップ研修(東京ガス環境エネルギー館) ●コンシェルジュ宿泊研修(一般社団法人八ヶ岳ツーリズムマネジメント) ●平成22年度主席森林官等研修「森林環境教育の事業企画」(林野庁森林技術総合研修所) ●清川青少年の家「自然案内人実践講座」(清川青少年の家) ●北社市環境教育リーダー養成講座～基礎コース～(北社市環境課) ●平成22年度マレーシア EPP 研修「気候変動に関する環境教育プログラム啓発促進」(独立行政法人国際協力機構) ●森林環境教育マネジメント研修(国土緑化推進機構)